

入船山記念館は、昭和42（1967）年に開館、今年で50周年を迎えます。記念館のシンボルである旧呉鎮守府司令長官官舎は、明治38（1905）年、建築家の櫻井小太郎によって設計されました。櫻井に建築の基礎を教えたのが、「日本近代建築の父」と呼ばれたイギリス人ジョサイア・コンドル（Josiah Conder 1852-1920）です。

コンドルは、1852年、イギリスのロンドンに生まれました。17歳の時に建築の道を志し、サウスケンジントン・アート・スクールと、ロンドン大学のスレード・ライフ・クラッセで建築の基礎を学びました。また、T・ロジャー・スミスやウィリアム・バージェスの建築事務所で働き、実務の経験を積みます。24歳の時、王立建築家協会主催の懸賞設計でソーン賞を受賞しました。受賞後、コンドルは日本政府の招聘を受け、日本に渡ります。明治10（1877）年来日したコンドルは、工部大学校造家学科（現在の東京大学工学部建築学科）の教師として着任します。工部大学校では東京駅を設計した辰野金吾をはじめ、日本の近代建築の発展に貢献した多くの人材を育成しました。また、コンドルは代表作の鹿鳴館をはじめ、海軍省庁舎や三菱一号館、岩崎久弥邸など数多くの設計を手がけました。



## exhibition of JOSIAH CONDER



# ジョサイア コンドル 展

日本近代建築の父

●平成29年度 入船山記念館ミニ企画展

①海軍省庁舎(出典:『コンドル博士遺作集』/国立国会図書館所蔵)②三菱一号館(出典:『コンドル博士遺作集』/国立国会図書館所蔵)③白滝幾之助「コンドル博士の像」(東京大学大学院工学系研究科建築学科所蔵)④鹿鳴館(一般社団法人霞会館所蔵)⑤鹿鳴館で使われた金唐紙(複製)⑥呉鎮守府司令長官官舎表面写真/ジョサイア・コンドル自邸(出典:『コンドル博士遺作集』/国立国会図書館所蔵)「コンドル博士の写真(和装のコンドル)」(東京大学大学院工学系研究科建築学科所蔵)

入船山へと続く小径から、呉の歴史が見えてくる。

入船山記念館は、呉市の歴史的記念物・資料等の保存・展示を図り、郷土文化向上に寄与するため、昭和42（1967）年4月1日に開設されました。

平成10（1998）年に国重要文化財に指定された「旧呉鎮守府司令長官官舎」を中心に、呉海軍工廠時計塔・旧東郷家住宅離れ・郷土館・歴史民俗資料館などが点在し、近代日本の歴史を感じることのできる呉のまちの中でもシンボルとして欠かせない場所です。

開館時間：9:00～17:00（最終入館は16:30）

休館日：火曜日（ただし祝日・休日の場合はその翌日）（8月は無休）年末年始（12月29日～1月3日）

観覧料：一般250(200)円／高校生150(120)円／小・中学生100(80)円

※（ ）内は20名以上の団体料金。大和ミュージアムの当日半分券ご提示で団体料金。

※呉市内在住在学の小中学生、高校生は無料。



- 徒歩 JR 呉駅から徒歩約13分。大和ミュージアムから徒歩約15分。
- バス JR 呉駅前バスのりば（3）番から、広電バス 坪の内経由【鍋棧橋行】約5分、「入船山公園」下車すぐ。
- 自家用車 入船山公園駐車場・122台（1時間100円）大型バス専用駐車場・12台（無料）



入船山記念館  
Irifuneyama Memorial Museum

〒737-0028 広島県呉市幸町4-6

TEL 0823-21-1037 FAX 0823-26-6270 URL <http://irifuneyama.com/> Mail [info@irifuneyama.com](mailto:info@irifuneyama.com)